

はびたけ西っ子 地域とともに

福井市社西小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	25回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	52人
授業ボランティア（含：低ボラ）	のべ140人
登下校支援ボランティア	のべ1000人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

ビオトープの活用とホタルサミット

本校では、学校のビオトープを活用して地域・PTAがホタルの産卵・孵化・成虫の放流、餌となるカワナナの採集など飼育活動を行っている。他にも、この学校ビオトープを活用した古代米の栽培と稲作作業の体験、昔ながらの米菓子づくりなど子どもは貴重な体験学習を行っている。



① 田おこし

3/6（火）びおBi0ランド『袂々 へけ田』（社西小ビオトープ）で田おこしが行われました。泥に足を取られながら慣れない「すき」や「くわ」で田んぼをならしました。お父さん達には以外と重労働だったようです。

② ホタルの幼虫放流

3/12（月）にPTA室で大事に育てたホタルの幼虫をビオトープに放流しました。「6月には、無事にホタルに飛び立ってくれるのでしょうか？」と、子ども達も願いを込めて放流しました。

③ 田植え

5/7（土）『袂々 へけ田』で田植えが行われました。子ども達は上手に苗を植えていました。なかには、田んぼの中で尻もちをついてしまった子もいました。田植えの後で、メダカやカエル・ザリガニなどビオトープの生き物と楽しそうにふれあっていました。

④ ホタルが飛びました

6月、源氏ボタルが10匹、平家ボタルが14匹飛んでいることが確認されました。

⑤ ホタル環境サミットへの参加

7/24（日）福井工業大学で、福井県ホタル環境サミットが行われました。社西小6年生が代表して活動を報告しました。また、ホタルの棲む環境づくりについて他の小学校児童と交流を深めました。

⑥ 稲刈りと感謝祭

9/18（日）に稲刈りが行われました。刈り取るのは簡単ですが、それを束ねるのに一苦労。束ねた稲は、「はさば」に掛けて天日干しにしてから脱穀しました。

収穫した古代米は、10月に行われた公民館まつりで「ポン菓子」にして試食しました。

成果と課題 ビオトープを介在としたこのような取り組みは、住宅地にあって自然とのふれあいが少ない本校の子どもたちにも貴重な環境学習や勤労体験・食育実践となった。